

[解説]

2008年 国際情報システム会議 (ICIS) 参加報告

松本秀之

本年、花の都フランス・パリで開催された国際情報システム会議(ICIS)に参加させていただきました。そこで、この会議の背景、会議の内容、そして特筆すべき点の3点を御報告申し上げます。

1 会議の背景

本年、第29回 ICIS が、フランス・パリで12月14日から17日までの4日間に亘り、全世界から約1,400名の情報システム学研究者が集い、フランスのナント大学のフランツ・ロー教授とイスラエル・テルアビブ大学のドブ・ティニ教授の両カンファレンス・チェアのもと、凱旋門の西に位置する Le Palais des Congrès をメイン会場として、盛大に開催されました[1]。

情報システム学領域の若手 IS 研究者育成を目的とした Doctoral Consortium が、11日から14日までの4日間、ESSEC Business School[2]において、また、スペシャルインタレストグループ(SIG)や OASIS など合計約30のプレ・カンファレンス・ミーティングが、12日から14日までの3日間、ESCP-EAP European School of Management[3]と Université Paris-Dauphine[4]を中心に開催されました。

ICIS2008 レセプション・セレモニーは、Innovation, Research および University 担当の Dr. Jean-Louis MISSIKA パリ市副市長を

迎え、Le Palais des Congrès で14日午後7時から執り行われました。そして、翌15日から17日までの3日間、Competitive な査読を通過した各種研究発表が行われました。

2 会議の内容

今回の ICIS2008 のトラックは、

- (1) Ethics, Design, and Consequences,
- (2) Education and Development,
- (3) Design Theory and Research,
- (4) Featured Industries,
- (5) Research Methods,
- (6) Organization Theory, Strategy and IS,
- (7) Human Behaviour and IT,
- (8) Human Computer Interaction,
- (9) Alternative Systems Development,
- (10) Teaching Cases,
- (11) Social Aspects of IS,
- (12) Global Information Systems Management,
- (13) Extreme Innovation,
- (14) IS Security and Privacy,
- (15) General Topics,
- (16) Breakthrough Ideas,
- (17) Economics of Information Systems,
- (18) CIO Problems and Prospects,

および各種 Panel ディスカッションでした。

15日のランチタイムには、今まで情報システム学に多大なる貢献をした研究者に対するアワード、および Doctoral Consortium の優秀賞の授与が行われると共に、来年30周年の佳節を迎える ICIS2009 開催内容の説明が行われました。また、16日の午前中、今回の ICIS の目玉である“CIO シンポジウム”が執り行われました[5]。

Hideyuki Matsumoto

ロンドン大学バークベックカレッジ
コンピューターサイエンスアンド
インフォメーションシステム研究所

[解説] 2008年12月17日受付

© 情報システム学会

“グローバルレベルで不確実性が高まっている現代社会。このパラダイムシフト期において、現代人である我々は、一体、どのような対応をしていくべきなのか。”

この問いに対する何らかの解答を見出すことを目的とした社会科学全体の視点から見れば、情報システム学という領域は極めて重要な位置にあると考えております。逆に、情報システム学の視点から見れば、この問いに対する解答を見出すことに全力で貢献していくことが、情報システム学研究者の極めて重要な存在意義であると思います。

そして、この情報システム学領域の重要なオーディエンスは、CIO に代表される産業界の実務家の方々であり、情報システム学領域の研究者は、学術の世界だけに閉じこもるのではなく、実務家との対話を重視し、積極的に産業界にアクセスしていく、責任と、義務と、使命がある方々です。この情報システム学領域の研究者に求められる基本的な姿勢を、今回の CIO シンポジウムは再確認したと考えています。

3 特筆すべき点

The Association for Information Systems (AIS) の日本支部 (Local Chapter) である JPAIS/JASMIN セッションが、14 日午前中、Université Paris-Dauphine で開催されました。

このセッションは、ICIS プレ・カンファレンスとして、本年、初めて開催された歴史的な会議であり、実証主義研究、解釈主義研究、そして国際比較研究の 3 つの分野から、合計 10 個の研究発表が行われました。また、このセッションには、日本人研究者だけでなくイギリス人情報システム学研究者であるロンドン大学バークベックカレッジのデービッド・ウィルソン博士も参加。彼は情報システム学領域における日本と英国との情報システム比較共同研究の提案を行いました[6]。

今回の JPAIS/JASMIN セッション開催に対して、AIS 元会長であるアメリカ・ベントレー

大学のボブ・ギャリアーズ博士、ICIS2008 カンファレンス・チェアであるフランス・ナント大学のフランツ・ロー教授、そして来年度 ICIS2009 カンファレンス・チェアであるイギリス・ワービック大学のウェンディ・キューリー博士から、賞賛のメッセージを (立ち話ですが) 頂戴いたしました。また、JPAIS 平野会長から、来年度以降も、ICIS プレ・カンファレンスに、JPAIS/JASMIN セッションを継続的に開催していくとのご提案がありました。

第 30 回の佳節を迎える今年の ICIS2009 は、12 月 15 日から 18 日までの 4 日間、アメリカ・アリゾナ州フェニックスで、「Doing IT Research That Matters」をテーマとして開催されます [7]。前述の通り、昨年、JPAIS/JASMIN セッションの ICIS における初会合が開催されたことによって、日本人 IS 研究者によるグローバルプレゼンス向上への新たな挑戦の歴史が始まりました。このことから ISSJ 会員の方々も幅広く ICIS2009 に参加をしてはいかがでしょうか。

参考文献

- [1] ICIS2008 (2008), “International Conference on Information Systems”, ICIS 2008, December 14 to 17, Paris, France, www.icis2008.org
- [2] ESSEC Business School (2008), “ICIS Doctoral Consortium”, December 11 to 14, Paris, France, www.essec.edu
- [3] ESCP-EAP (2008), “ICIS Ancillary Meetings 2008”, December 13 to 14, Paris, France, www.escp-eap.eu
- [4] Université Paris-Dauphine (2008), “ICIS Ancillary Meetings 2008”, December 13 to 14, Paris, France, www.dauphine.fr
- [5] ICIS2008 (2008), “Conference Program”, ICIS 2008 - December 14 to 17, Paris, France, www.unice.fr/icis2008/step1/program.pdf
- [6] JPAIS2008 (2008), “Pre-ICIS 2008 JPAIS/JASMIN Session”,

www.tku.ac.jp/~jpais/PROGRAMME.pdf
[7] ICIS2009 (2009), “Welcome Message”,
www.icis09.org

著者略歴

松本秀之(まつもとひでゆき)1962年生まれ。
1985年, 慶應義塾大学経済学部卒業。1998年,
アイルランド国立大学経営情報学修士号取得。
2007年, 英国ロンドン大学情報システム学博

士号取得。Ph. D. (Information Systems)。長
年, 多国籍投資銀行に勤務しシンガポールとロ
ンドンでグローバル IT マネジメントに従事。
現在, 英国ロンドン大学バークベックカレッ
ジ・コンピューターサイエンス情報システム研
究所客員研究フェロー, 早稲田大学 IT 戦略研
究所客員研究員, 独立行政法人経済産業研究所
コンサルティングフェロー, および Japan
Association for Information Systems (JPAIS)
欧州代表。